令和8年度　「志教育」全体計画

様式1

宮城県宮城第一高等学校

校　訓

自　主　自　律

本校の教育目標

1　個性の確立(個人生活)
2　社会性の陶冶（家庭生活及び社会生活）
3　職業教育(経済生活及び職業生活)
4　明るい生活の創造(総合)

生徒の実態、教師の願い

自主自律の精神を受け継ぎ、教育活動全体を通じて、自ら考え自らの意志で決定し、その行為の結果に責任を持つことを目標に、継続して指導している。
自由な校風を享受しながらも、集団の中で切磋琢磨しつつ、社会性を身に付け他とのつながりを意識した生き方を模索してもらいたい。

保護者や地域の願い

入学してくる生徒の資質は高く、生徒はほとんど進学希望であり、保護者もそれを望んでいる。卒業後も社会の多くの分野で活躍し、リーダーとしての役割が期待されている。
伝統を受け継ぎつつ、学力の伸長とともに、3年間の充実した高校生活の中で人間として大きく成長してもらいたい。

「志教育」の目標

1 自己理解を深め、早期に進路目標を確立する
2 探究する姿勢や、高度な自己教育力を高める
3 自己実現をめざし、努力する姿勢を支援する
4 情報を広く集め、活用する能力を育てる

重点指導事項

人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
○特別活動や部活動をとおして、集団の中における自己の役割を意識し、他とのつながりを深化させる。 ○クラスや委員会活動において、個を大切にする視点と、他と協力する視点の調整をとおして、社会性を身に付けさせる。	○講演会や進路資料から積極的に情報を集めさせ、自己実現に向けて自律的に取り組めるよう支援する。 ○学ぶ喜びを体験させ、未知の世界に挑戦しようとする姿勢を支援する。	○職業を選択する意味と日本や世界との関係を常に考えさせ、社会の中で学びの意義を理解することができるよう支援する。 ○限られた資源と環境の中で、豊かで平和な社会の実現に向けて取り組むべき課題を考察させる。

各教育活動における取組の観点

各教科	自ら学習する姿勢を身に付けさせ、家庭学習の習慣を確立させる。45分×7コマの授業形態による豊富な学習時間と、質の高い授業を提供し、自ら考えをまとめ表現する能力を育成する。生徒が日常的に質問できる体制を整え、個に応じた丁寧な指導を行う。
道徳	生徒が自己探求と自己実現に努め、国家社会の一員としての自覚に基づいて行動すべき発達段階にあることを考慮して、人間としての在り方・生き方を学校教育全体の活動を通じて考えさせる。
総合的な探究の時間	自己の在り方・生き方や進路と社会との関わりを踏まえて課題を設定し、調査・実践・振り返りを重ねる探究活動を行うことで、主体的に課題を解決し、自らの進路を選択・実現していく力を育成する。
特別活動	学友会の一員として、各種行事や部活動へ積極的に参加し、周りと協力しながら、問題の解決に取り組み、自分の責任を果たすとともに、自己を生かす能力を養う。校風である自主自律を意識させながら、自主的・実践的な態度を育てる。
その他	進学重視型単位制の利点を生かし、個に応じた教育課程を構築し、少人数や習熟度別授業で、個々の能力を十分に指導できるようにする。国際探究科・理数探究科の特色を活用しながら、国際交流を深めたり科学の最先端に触れたりする機会を増やす。

各年次の取組内容

1年	①探究活動に向けてのスキルの習得（講義と演習） ・周辺情報の収集　・研究手法について ・仮説の設定と検証　・探究課題の設定 ・探究の実践と発表 ②文理選択・進路選択に向けたワークショップ ③スタディサポート・基礎的、汎用的な能力の理解と自己分析 ④個人面談〔学習相談、進路相談〕 ⑤歌合戦の準備と発表 ⑥進路講話
2年	①探究学習の実践 ・課題発見能力の育成と課題解決能力のスキルアップ ・批判的・協働的・創造的な思考力の育成 ②学習状況_進路希望調査（年2回） ③個人面談〔学習相談、希望進路の確認と助言〕 ④スタディサポート・基礎的、汎用的な能力の理解と自己分析 ⑤歌合戦の準備と発表
3年	①進路説明会〔進路関連日程と心構え〕 ②志望分野研究・学問系統別ワーク ③保護者に向けた進路プレゼンテーション ④進路講話 ⑤学習状況_進路希望調査 ⑥ケーススタディ ⑦小論文指導(志願理由書作成を含む)と面接指導 ⑧個別面談・三者面談〔志望校決定と出願〕 ⑨歌合戦の準備と発表

家庭との連携

ＰＴＡ活動や学校評価、授業公開などの機会を通じて、情報共有を図る。学校新聞やホームページで日常の学校生活について情報発信し、家庭と連携しながら時機に応じて安定した学習環境を維持できるよう協力して取り組む。

地域･企業との協働

地元大学・研究機関による講義や研究室訪問、フィールドワーク等を通して、生徒が主体的に探究に取り組む機会を設ける。また、社会人や研究者等から直接助言を得ることで、論理的思考力や表現力、協働性を高め、進路意識の高揚と学びに向かう意欲の向上を図る。